

2016年2月24日

東急不動産株式会社
ニセコ東急リゾート株式会社
株式会社東急リゾートサービス

ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフ 2016年12月、キング第3リフトが 4人乗り高速リフトに生まれ変わります。

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:植村 仁)、ニセコ東急リゾート株式会社(本社:北海道虻田郡、社長:橋詰 雅彦)、株式会社東急リゾートサービス(本社:東京都港区、社長:速川 智行)は、北海道虻田郡倶知安町にて経営及び運営管理するスキー場、ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフにおいて、2016年12月運行開始に向けた、ヒラフ上部及び花園地区へアクセスする基幹リフト「キング第3リフト」の架け替え事業概要が決定いたしましたのでお知らせいたします。



キング第3リフト架け替えイメージ



ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフ

国際スキーリゾートとして世界中から注目されている北海道・ニセコエリア。国内外の様々な地域よりニセコグラン・ヒラフに訪れるスキーヤー・スノーボーダーのお客様の数は年々増加傾向で、昨2014-'15シーズンは約55万人のお客様にご来場いただいております。現在ニセコエリアでは、外資ホテルの誘致が予定され、ニセコグラン・ヒラフのあるヒラフエリアにおいても、新規コンドミニアムホテルが高価格帯で好調に販売されるなど、今後の注目度もさらに高まることが予想されます。

「キング第3リフト」は、1985年12月に竣工した3人乗りリフトからこの度約12億円の総工費を投じ、4人乗り高速リフトに架け替えいたします。現行リフトの輸送人数より時間あたり600人の輸送力を向上させることで、リフト待ちの混雑緩和をはかります。また、今回の架け替え工事に合わせて、既存の山麓駅(起点)を約170m 下部に変更。ヒラフゴンドラ山頂駅からスムーズに滑り込めるように改善し、各コースへのアクセスや利便性を向上いたします。

ニセコ東急リゾート株式会社では、2011年度より総投資額約16億円にのぼる大規模投資としてスキーセンター2棟の新設、ヒラフゴンドラのリニューアル、ホテルニセコアルペン内にスイートルームの新設等を実施いたしました。東急不動産グループでは、ニセコ・ヒラフエリアの活性化の為に、今後も様々な形での取り組みを実施してまいります。

このリフト架け替え工事に伴い、2016年4月4日よりキング第3リフト及びキング第4リフトはシーズンの運行を終了させていただきます。合わせまして、その周辺エリアのコースをクローズさせていただきますので予めご了承ください。

尚、毎年皆様にご好評いただいております白樺コースのスプリングパークについては例年通り4月上旬よりのオープンを予定しております。

引き続きニセコグラン・ヒラフをご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

リフト運行・コースの営業状況につきましては詳しくは、スキー場ホームページにてご案内致します。

■ 新旧スペック比較

	新リフト	旧リフト
名称	キング第3クワッドリフト	キング第3トリプルリフト (旧)ニセコ高原第6Cリフト
架設場所	北海道虻田郡倶知安町ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフ 地内	
索道の型式	単線自動循環式特殊索道	単線自動循環式特殊索道
製造	日本ケーブル株式会社	東京索道株式会社
線路水平長	1,312.25m	1,143.76m
線路傾斜長	1,356.81m	1,186.16m
起終点高低差	307.60m	290.35m
線路両線の間隔	5.2m	4.4m
搬器出発間隔	6.0sec	6.0sec
運転速度	5m/sec. (300m/min)	4m/sec. (240m/min)
毎時輸送量	2,400人	1,800人
搬器定員	4名	3名
搬器フード	付き	付き
搬器個数	96台	108台
搬器回転方向	反時計方向	反時計方向
運行開始	2016年(平成28年)12月予定	1985年(昭和60年)12月